

# 実務経験のある教員等による授業科目一覧

[水産学部 増殖生命科学科]

年度	学期	時間割コード	科目	講義題目	単位数	責任教員名	有する実務経験と授業への活用状況
2019	2	019003	プランクトン学		2	山口 篤	国立の研究機関において研究員経験のある教員と、民間の環境コンサルティング企業に勤務経験のある教員が実務経験を交えた解説を行う。
2019	2	019006	化学海洋学		2	工藤 勲	民間研究機関で海洋観測の実務経験がある教員が、実務経験を交えた講義を行う。
2019	2	019010	海洋基礎生産学		2	工藤 勲	民間研究機関で海洋観測の実務経験がある教員が、実務経験を交えた講義を行う。
2019	1	019025	魚類学		2	今村 央	国立研究機関で調査・研究、および高等学校で教育を行った教員が、実務経験に基づいた講義を行う。
2019	1	019035	食品化学		2	佐伯 宏樹	民間機関にて水産食品の開発や水産物の利用技術開発の事業に携わった経験を有する教員が、実務経験に基づいた講義を行う。
2019	1	019037	水産資源各論		2	高津 哲也	水産庁および水産総合研究センター水産研究所における水産資源管理に関わる調査研究・漁獲可能量決定実務における問題点を具体的に指摘。また、増養殖研究機関における水産資源の研究、JICAによる増養殖ボランティアおよび民間養殖業者での漁業従事経験を織り交ぜ、資源を保全しつつ有効利用する方法について考える授業を行っている。
2019	1	019040	水産生物化学		2	佐伯 宏樹	民間機関にて水産食品の開発や水産物の利用技術開発の事業に携わった経験を有する教員が、実務経験に基づいた講義を行う。
2019	2	019041	水産増殖学		1	都木 靖彰	日本学術振興会(学振)海外特別研究員(カナダ水産海洋省:藤本)の経験のある教員が、世界と我が国における水産増養殖産業の違い、魚介類増養殖産業と遺伝学、魚病学とのかかわりについて講義している。
2019	1	019042	水産増養殖実習		1	水・増殖生命科学科長	日本学術振興会(学振)PD特別研究員, Research Associate(研究員)&Senior Research Associate(主任研究員)(米国ノースカロライナ州立大学:平松)、日本学術振興会(学振)海外特別研究員(カナダ水産海洋省:藤本)、上原記念生命科学財団のポストドクトラルフェローシップ(フランス国立科学センター・ロスコフ生物学研究所:研究員)や文部科学省「東北マリンサイエンス拠点形成事業」研究院および学振特別研究員(熊本大学:宇治)として経験した実務を本科目の授業に活かしている。
2019	2	019045	水族生化学		2	東藤 孝	研究員として岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所・ノースカロライナ州立大学(米国)・ワシントン大学(米国)での実務経験がある教員が、比較生理学の観点から様々な動物における生理機構についての講義を実施する。
2019	2	019053	天然物化学		2	酒井 隆一	米国のベンチャー企業SeaPharm社で海洋天然物医薬の探索研究に従事した教員が、実務経験に基づいた講義を行う。
2019	2	019054	発生・組織学		2	水田 浩之	日本学術振興会(学振)海外特別研究員(カナダ水産海洋省:藤本)、上原記念生命科学財団のポストドクトラルフェローシップ(フランス国立科学センター・ロスコフ生物学研究所:研究員)や文部科学省「東北マリンサイエンス拠点形成事業」研究院および学振特別研究員(熊本大学:宇治)として経験した実務を本科目の授業に活かしている。
2019	2	019055	比較生理学		2	東藤 孝	リサーチアソシエイト(基礎生物学研究所)及び日本学術振興会PD特別研究員(基礎生物学研究所)として経験した実務を本科目の授業に活かしている。 研究員として岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所・ノースカロライナ州立大学(米国)・ワシントン大学(米国)での実務経験がある教員が、比較生理学の観点から様々な動物における生理機構についての講義を実施する。
2019	1	019064	有機化学		2	安藤 靖浩	日本学術振興会特別研究員の経験を有する教員が、実務経験に関わる内容を含めた講義を行う。
2019	1	019069	潜水調査実習		1	藤田 雅紀	民間機関にて潜水作業の業務に携わった経験を有する外部講師が、実務経験に基づいた講義を行う。
2019	2	019071	機器分析化学		2	藤田 雅紀	Harvard Medical Schoolにて研究員の経験がある教員が実務経験に基づいた講義を行う。
2019	1	019072	水圏生物学		2	河合 俊郎	国立・財団・民間の研究機関と企業において、研究員経験のある教員が実務経験を交えた解説を行う。
2019	2	019076	海洋生物科学Ⅱ		2	松野 孝平	国立の研究機関において研究員経験のある教員と、民間の環境コンサルティング企業に勤務経験のある教員が実務経験を交えた解説を行う。
2019	1	019079	水族館学		2	田城 文人	水族館にて飼育・研究・運営等に携わる講師を招き、水族館での諸活動やさまざまな課題について紹介する。

## 実務経験のある教員等による授業科目一覧

[水産学部 増殖生命科学科]

年度	学期	時間割コード	科目	講義題目	単位数	責任教員名	有する実務経験と授業への活用状況
2019	1	019080	海洋学入門		2	上野 洋路	漁業取締船(船長)での実務経験がある教員により、海洋立国の実現を目指す日本が抱えている諸問題を新たな視点により考えるきっかけを与えている。
2019	2	019086	海洋保全学		2	藤森 康澄	増養殖研究機関における水産資源の研究、JICAによる増養殖ボランティアおよび民間養殖業者での漁業従事経験を織り交ぜ海洋生態系について考える授業を行っている。
2019	1	019092	基礎生命科学実験		2	水田 浩之	日本学術振興会特別研究員(PD:浦、宇治)や科学技術振興事業財団(PD:浦)、Postdoctoral fellow(University of Massachusetts)研究員(大阪大学:井上)として経験した実務を本科目の授業に活かしている。
2019	2	019094	水圏生化学実験		2	井上 晶	海外および国内の水圏を含む生物を研究対象とした各研究機関で研究員経験のある教員が実務経験を交えた解説を行う。Postdoctoral fellow(University of Massachusetts)研究員(大阪大学)としての実務経験を本科目の授業に生かしている。
2019	1	019097	増殖生命科学演習		3	水・増殖生命科学科長	実務経験(日本学術振興会特別研究員、各種財団研究員、PJ研究員)を持つ教員により、本科目を担当している。
2019	2	019107	食品衛生学		2	川合 祐史	日本食品衛生学会で役員経験のある教員が実務経験を交えて講義を行う。
2019	1	019108	食品保蔵学		2	川合 祐史	試験研究機関で水産食品の研究経験のある教員が実務経験を交えて講義を行う。
2019	1	019111	卒業研究		8	水・増殖生命科学科長	実務経験(日本学術振興会特別研究員、各種財団研究員、PJ研究員)を持つ教員も、卒業研究指導に携わっている。
2019	2	019113	分析化学	(増殖生命科学科・資源機能化学科開講)	2	栗原 秀幸	企業において機能性資材の開発に従事した教員が、実務経験に基づいた講義を行う。
2019	2	019114	分析化学	(海洋生物科学科開講)	2	芳村 毅	企業の研究所において事業所排水の水質管理に携わった経験のある教員が、現場における実例を交えて授業する。
2019	1	019116	基礎乗船実習		1	大西 広二	増養殖研究機関における水産資源の研究、JICAによる増養殖ボランティアおよび民間養殖業者での漁業従事経験を織り交ぜ海洋生態系について考える授業を行っている。
2019	1	019125	水産科学英語 I	(海洋生物科学科開講)	1	清水 宗敬	英語圏において研究員の経験がある教員が、実務経験に基づいた演習を行う。
2019	2	019131	水産科学英語 II	(増殖生命科学科開講)	1	水・増殖生命科学科長	日本学術振興会(学振)海外特別研究員(カナダ水産海洋省:藤本)として経験した実務を本科目の授業に活かしている。
2019	1	019151	特別実習 I (増殖生命科学科)		1	水・増殖生命科学科長	国内外の他大学・他研究機関に滞在し、水産科学または関連する自然科学の講義を履修し、または関連分野の研究・課外活動を行うことによって、専門知識と科学的方法論を学ぶ。
2019	1	019155	特別実習 II (増殖生命科学科)		2	水・増殖生命科学科長	国内外の他大学・他研究機関に滞在し、水産科学または関連する自然科学の講義を履修し、または関連分野の研究・課外活動を行うことによって、専門知識と科学的方法論を学ぶ。

**合計 68 単位**